

科目名	看護研究入門 Nursing Research: Introduction		担当教員 (研究室番号)	上田 貴子 (304) 他		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	3年次 前期	科目 区分	総合科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	看護におけるさまざまな研究の分野・理論・方法について理解し、卒業研究において各自が実際に研究論文を作成するために必要な基本的知識を学ぶ。											
ディプロマ・ ホルダー (DP)	主要なDP	G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。(関心・意欲)										
	関連する DP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。 (姿勢・態度) D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。 (技能・表現)										
到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマやリサーチエスジョンを見つけ、卒業研究に結びつけることができる。 看護研究に関する理論や研究方法について理解できる。 様々な研究に触れることで研究的視点を養うことができる。 											
成績評価方法 (基準)	期末レポート (50%)、課題への取り組み (50%)											
再試験の有無と 基準等	有：評価が60%に達しない場合は、課題レポートの提出を課す。レポートでは合否のみを判定する。											
教科書	・坂下玲子, 宮芝智子, 小野博史 (2023). 系統看護学講座 別巻 看護研究 第2版, 医学書院.											
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・南裕子, 野嶋佐由美編 (2017). 看護における研究 第2版, 日本看護協会出版会. ・石村光資郎, 石村友二郎 (2014). 卒論・修論のためのアンケート調査と統計処理, 東京図書. ・谷津裕子 (2014). Start Up 質的看護研究 第2版, 学研メディカル秀潤社. 											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	講義として知識を得るにとどまらず、研究テーマや具体的なリサーチエスジョンを考えること、研究目的を決定すること、目的に応じた研究方法を選択すること等、研究を進めるプロセスの一部を体験する。独創的な発想に期待するとともに、研究という新たな「知」を創造するための具体的方法や堅実な手段について理解して欲しい。											
備考	教員が輪講の形式で担当します。教員の都合により授業開催時期が前後することがあります。											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	看護研究とは				4年次で履修する卒業研究への導入として、研究とは何か、その看護における意義や必要性等について概説する。				(学内教員)	講義		
2回	看護研究入門				研究テーマやリサーチエスジョンの設定、研究目的の決定、研究手法の選択など、研究を進めるプロセスについて学び、卒業研究へと結び付ける。				小池	講義		
3回	看護研究の実践：量的研究〔概論〕				量的研究の特徴について学ぶ。研究課題や研究デザインの設定、研究の手順等について学ぶ。				林	講義		
4回	看護研究の実践：質的研究〔概論〕				質的研究の特徴について学ぶ。研究課題や研究デザインの設定、研究の手順等について学ぶ。				浦野	講義		
5回	論文クリティーク				論文の読み方を理解するとともに、関心のある分野における先行研究の内容を吟味する方法について学ぶ。				上田	講義		
6回	看護研究の実際①				看護研究の実際について学ぶ。				(学内教員)	講義		
7回	看護研究の実際②				看護研究の実際について学ぶ。				(学内教員)	講義		
8回	看護研究の実際③				看護研究の実際について学ぶ。				(学内教員)	講義		

学 習 課 題

事前に教科書の序章・第1章を通読しておくこと。詳細は授業初日に説明する。

第1回課題 (事後) : 第2章 演習2の課題1～課題3 (教科書p. 45) に取り組み、結果をレポートにまとめて提出すること。【様式①】

第2回課題 (事後) : 第3章 演習3の課題1～課題8 (教科書pp. 74-81) に取り組み、結果をレポートにまとめて提出すること。【様式①】

第3回課題 (事後) : 第3章 演習4の課題1～課題3 (教科書p. 82) に取り組み、結果をレポートにまとめて提出すること。【様式①】

第4回課題 (事後) : 第3章 演習4の課題4～課題6 (教科書p. 83) に取り組み、結果をレポートにまとめて提出すること。【様式①】

第5回課題 (事後) : 別途指示

第8回課題 (期末レポート) : 卒業研究計画書 (案) を作成し提出すること。【様式②】

実務経験を活かした教育の取組